

映画上映会&ミニトーク

書道ガールズ！！

わたしたちの甲子園 報告

6/20 (土)

13:00~15:30

今年も、6/23~6/29の男女共同参画週間に合わせて、映画&ミニトークを開催しました。

今年度は、「地域力×女性力=無限大の未来」というキャッチフレーズにちなみ、地域と女性をテーマにしました。

男女共同参画週間って？

内閣府男女共同参画局

検索



男女共同参画推進本部は、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、男女のパートナーシップについて考えてみませんか？



上映作品

書道ガールズ！！わたしたちの甲子園



愛媛県四国中央市。ここは紙の生産高日本一を誇る、“紙の町”。折からの不況の影響でさびれてゆく街の活気を取り戻すべく、書道部員が立ち上がった！彼女たちが取り組むのは、「書道パフォーマンス」！少女たちのひたむきな思いが元気をくれる、実話に基づいた感動ストーリー！



(C) NTV
(2010/日本/120分)

★ミニトークゲスト★ 初代書道ガールズ 平石圭子 さん

三島高校書道部が初めて書道パフォーマンスを始めた 2002 年当時の部長。当時の恩師や仲間について、また、今や四国中央市の名物イベントとなった「書道パフォーマンス甲子園」のお話から地域とのかかわりなどについてお話しいただきました。



◎書道パフォーマンスを始めたきっかけ

顧問の先生が、福岡の高校で書道パフォーマンスをしているビデオを見せてくれ、やってみないか？と言われたことがきっかけです。実際に福岡の高校で生のパフォーマンスを見せてもらい、衝撃を受け、みんなでやってみたい！となりました。

◎当時の恩師と仲間について

顧問の先生は、福岡出身の方ですが、松山市出身の書道家^{みわだべいさん}三輪田米山の研究をするために愛媛県の教諭になったそうです。当時 30 代前半だったと思いますが、若くてパワフルで書道に対して真剣な気持ちを持った先生でした。部員については、私以外にも部長をやりたい！という子も多く、一致団結していたので、部長をやる上で苦労したことはほとんどありませんでした。今でもすごく仲が良くて、一年に一回は集まっています。

◎地域とのかかわりについて

パフォーマンスを始めて、どの部活よりも遅く残って練習したかいがあって、始めた年の夏には披露できるまでになりました。初披露は、川之江のショッピングセンターでした。地元の方にみていただいたことで、パフォーマンスすることの楽しみを知りました。

映画と違い、実際は、書道のイメージを変えたい先生の想いに賛同した部員が始めた書道パフォーマンスでしたが、結果的に地域活性化につながりました。練習用の紙を新聞屋さんが提供してくれたり、集会所が合宿場所を提供してくれたり、地域の方々には助けていただきました。

◎今年 8 回目を迎えた書道パフォーマンス甲子園について

※現在松山市でお仕事をされている平石さんに代わって現在の書道パフォーマンス甲子園の様子についてお母さまが答えてくださいました。

1 回目はそれこそさびれた商店街で開催していましたが、現在は立派な会場で規模も大きく、参加人数も多くなりました。ぜひ一度いらしてください。

特別ゲスト：平石さんのお母さん



会場には、市内の高校の書道部のみなさんがきてくれていました。先輩である平石さんからメッセージが。

もしかしたら、今後しんどくなったり、受験などで部活をやめようと思ったりすることがあるかもしれませんが、続けるということは大事なので、辛いと思っても踏みとどまってください。部活に限らず、これからの人生で「続けてきた」ということは自信となって自分を支えてくれると思います。部活を最後までやり抜いたら、進路やすべてにおいて一生懸命にできる力が付くと思うので、どうかあきらめずに頑張ってください。

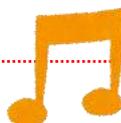


▼アンケートより▼

今までにない、いい体験ができた。
(10代・女性)



あきらめない、続ける、チームワークが大切。感動した。
(50代・男性)



地域の人たちの応援、援助があって書道パフォーマンスができたとのお話しで、地域の協力が人材の育成にも成果があると思った。(60代以上・男性)



やり始めは大変だったと思うが、現在まで続け、全国的に盛り上がったことに感激、感心した。(60代以上・男性)



続けることの大変さもあるが、楽しむことが大きな力となって人の気持ちを引き付けていくのだろう。出逢いやチャンスは誰にもあるだろうけれど、上手に生かしていったらよい。とても温かい気持ちになった。(60代以上・女性)



自分と同年の子たちが、1つのことに夢中になっていてとても感動した。私もそうなれるようにこれから書道がんばっていききたい。(10代・女性)

平石さんは、現在お仕事で部署の主任をされているそうですが、部活での経験は今の平石さんの基礎となって役に立っているとのことでした。今は書道からは離れていますが、いつかまた機会があれば筆を持ちたい。と語ってくださいました。四国中央市の書道パフォーマンス甲子園、そしてこの松山市では俳句甲子園が開催されていますが、地域で大事に続けていきたいですね。テーマの「地域」「女性力」について考えるきっかけにさせていただけたらと思います。ご来場本当にありがとうございました！

